

## 投 稿 規 定

1. 本誌は、十全医学会会員の未発表の原著を中心とするが、総説、学会記事および抄録、書評、雑報、その他も掲載する。
2. 和文の場合は、すべてA4判大で600字(30字×20行)とする。原本とそのコピー1部(表図も同様)、雑誌投稿用紙、電子媒体(FD, CD-R, MOのいずれか)を添え事務局まで提出する。
  - 1) 電子媒体には氏名、住所、連絡先(電話番号)および使用したソフト名を記入すること。  
〈文字データ〉Word, 一太郎 等。ファイル形式はテキスト保存。その他ワープロソフトでもテキスト保存であれば、可。  
〈写真データ〉Photoshop, Photoshop LE, Power Point 等。ファイル形式はEPS, JPEG保存。その他の画像ソフトでも保存形式がEPS, JPEG, TIFFであれば、可。  
〈表データ〉イラストレーター, Excel。イラストレーターについてはVer.8.0に下位保存、文字のアウトライン化にすること。
  - 2) 特殊な記号や外字などはソフトウェア相互の規格の不統一によって、正しい変換が行なわれない(文字化け)ケースが多々あるので、校正時には特に注意する。
  - 3) 英単語の途中での改行のハイフンは入力しないこと。
3. ヒトゲノム・遺伝子解析、および動物実験を含む論文の投稿に際し、投稿時には、当該研究の許可通知書のコピーを添付し、論文中に研究許可年月日、許可番号、課題名を記載する。
4. 原稿の編成順は以下のとおりとする。

(表題ページ) 表題、所属、氏名、25字以内の略題、連絡先を表示し、これを第1ページとし、原稿すべてに通しページをつける。  
(和文抄録) 600字にまとめ、英文抄録の内容と一致すること。  
(Key words) 5個以内の英語または邦語とする。  
(略語: Abbreviations) 本文中の外来略語とそのフルスペリングを略語のアルファベット順に記載する。日本語略語は、これに続けてアイウエオ順に記載する。ただし、別掲の略語は、Abbreviation欄に挙げる必要はない。また、本文中でも邦語やフルスペルを示す必要はない。  
(本文)  
(英文抄録: Abstract) 英文の表題、氏名、所属、Key Wordsに続いて記載し、段落を作らず全文を続けて書くこと。  
(表: Table, および図: Figure)  
(図の英文説明: Legend)
5. 本文の構成は、次のごとくとする。ただし、原著以外はこの限りではない。

緒言(見出しなしで始める)、対象(または材料)および方法、成績、考察、結論、謝辞、文献。対象および方法、および成績の章は、なるべく項目を挙げて説明する。
6. コンマ、ピリオド、括弧などは、すべて1字として扱うこと。単位の略語記号としてg, l, m, sec, min, hr, °C, M (=mol/l), A, V, Ω, S (siemens=1/Ω), Da (=dalton), b (=base), LD<sub>50</sub> (median lethal dose), cpm (counts per minute) などを用いる。各略字の後にピリオドをつけない。各単位を1000倍することに、その前にk, M, Gをつける。また1/1000倍することに、m, μ, n, p, fをつける。ただしcmとdlを使うのは差支えない。(本文中の時間の単位は、原則として日本語とする。ただし、msecはこの限りでない。)
7. 章、節、項などの区分は、それぞれI, 1, 1) i, a, a)の順にこれらの記号を用いる。
8. 文献は本文中に引用した順に記載し、文献欄には論文の題名をフルタイトルで書き、ページの始めと終わりを入れ、原著および単行本については下記の投稿例に従って記載する。文献数は、なるべく必要度の高い文献のみを記載し、50以上にならないようにする。
  - 1) Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahlnick HA. The concentration of relaxin in the blood stream and other tissues of women during pregnancy. *J Clin Endocrinol Metab* 14: 22-27, 1955
  - 2) 奥村隆俊, 光村利一, 中西真澄. 瀉血血糖過剰の機作用について. *日内会誌* 14: 273-275, 1926
  - 3) Bull HG. *Physiological Biochemistry*, 2nd ed, p97-107, John Wiley & Sons Inc, New York, 1951
  - 4) Leibovitz B, Siegel BV. Ascorbic acid and the immune response. *In* M Philips, A Baetz (eds), *Diet and Resistance to Disease*, 1st ed, p1-25, Plenum Press, New York, 1981
  - 5) 早田 勇. 染色体標本作成法. 実験動物の血液学(小林好作, 平嶋邦猛, 関 正利編), 第1版, 281-293頁, ソフトサイエンス社, 東京, 1981引用雑誌の略名は、World List of Scientific Periodicals (London Butterworth, 1963), World Medical Periodicals (World Medical Association, 10 Columbus Circle, New York 19, N. Y. U.S.A. 1961), List of Journals Indexed in Index Medicus (各年度発刊), Excerpta Medica List of Journals Abstracted (各年度発刊), Serial Sources for the Biosis Data Base (各年度発刊), 医学中央雑誌収載誌目録(各年度発刊), 日本自然科学学術雑誌総覧(日本医学図書館協会編, 学術書出版会刊, 1969)などによること。

本文中では、引用文献の著者名、または内容の右肩に<sup>1)2)</sup>……などの番号を書き、文献欄との照合を容易にすること。ただし、引用文献が3つ以上連続するときは、<sup>3)~7)</sup>などと書くこと。引用文献の著者が複数ときは、筆頭者名のみを書き、それに“ら”を付す。原則として、年号は、はぶく。  
〔例〕Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahlnick HA. は、Zarrowら<sup>1)</sup>とする。
9. 表 (Table) は英語でタイプをする。表の上にTable 1, Table 2. ……と通し番号をつけ、続いて英文表題を書く。説明文は、表の下に直接タイプする。本文中では表1, 表2……と書く。
10. 図が原稿のみの場合、そのまま製版できるまでに仕上げる。図(写真を含む)の下にFig. 1, Fig. 2. ……と通し番号をつける。説明文は英文とし、図とは別に一括してタイプする。ただし、本文中では、図1, 2……と書く。
11. 図、表などの挿入位置は、本文原稿の右欄外に指定しておく。
12. 著者の校正は、2回限りとし、誤植の訂正だけにとどめ、内容の訂正をしてはならない。
13. 本文、表、図、写真、別刷りなどの費用は、著者の負担とする。
14. 以上の規定にそわない原稿は、掲載を拒否することがある。原稿の作成にあたっては、金沢大学十全医学会 <http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp> の投稿規定を参考にする。
15. 問合せ先 金沢大学十全医学会事務局  
TEL 076-265-2131 FAX 076-234-4208  
E-mail: kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

本誌に掲載された著作物(又は報文を含む)の著作権は本学会に帰属する。